

東京都内大学病院連携協議会（仮称）、MARC（首都圏ARコンソーシアム）等の関係機関との連携につなげる

新設

デジタル戦略室

東京医科大学病院長
（統括責任）

東京医科大学 研究統括本部

事業の実施体制

茨城医療センター

3病院会議

八王子医療センター

事業推進ワーキンググループ

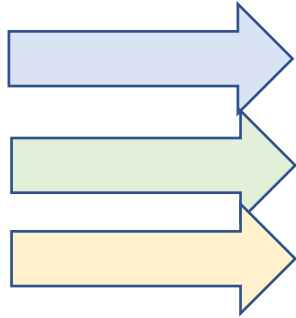
統合的かつ持続可能な改革構想の実現

- 共同研究
- ・大学院（医学科、看護学科）
 - ・基礎医学分野
 - ・社会医学学分野

- 臨床教育
- ・卒後教育推進センター
 - ・若手医師教育
 - ・多職種連携

「HL7 FHIR」準拠のリポジトリで様々な機関との互換性

東京医科大学病院（新宿）
東京医科大学八王子医療センター
東京医科大学茨城医療センター

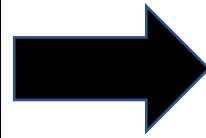


医療情報

診断、治療、検査
(検査値、所見、
etc.)、処方、治療
コスト・期間、利
用機器（ダヴィン
チ等、DPC、他

医療情報 データベース

可視化・閲覧・分析



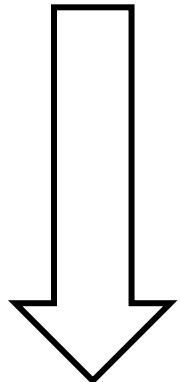
支援
新たな研究テーマ創出

東京医科大学（新宿）

3病院での医療情報の共有
新規臨床研究への展開

共同ビルの完成（2029年3月）に伴い、研究の活性化を促進可能

基礎研究へのフィードバック
新規基礎研究への展開

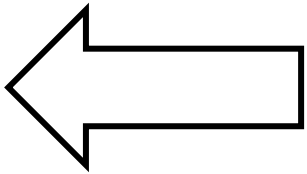


医療情報の二次利用

- ・ 治験患者スクリーニング
- ・ 研究開発支援
製薬・医療機器企業、研究機関・官公庁
- ・ 患者・地域医療への貢献
- ・ (生命保険会社)

一般社団法人首都圏ARコンソーシアム（MARC）加盟機関との連携に繋げる ⇒ **地域連携の強化**

東京都内大学病院連携協議会（仮称）の設置
⇒東京都内の13大学病院（本院）が主体となって協議会を新たに設置し、東京都保健医療局と協働のもと、高度急性期医療の連携強化だけでなく、医師派遣や研修体制の充実、共同研究等の推進を通じた、都内各医療圏における医療連携体制を一層強化する



取り組み内容の概要

東京都を含む首都圏内における地域医療・高度医療の発展に寄与

一般社団法人首都圏ARコンソーシアム (MARC)加盟機関との連携につなげる

地域連携強化

東京都内大学病院連携協議会(仮称)に設置に基づき医療情報基盤の連携体制を構築

(1) iTMU Medical Networkによる統合型大学病院モデルの確立

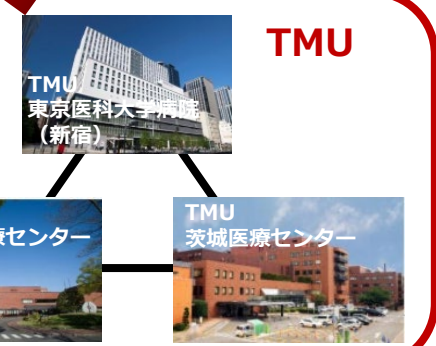
高度医療・教育研究の中核拠点として強化

3病院運営の構造転換・強化

「HL7 FHIR」準拠のリポジトリで様々な機関との互換性

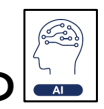
TMUデジタル戦略室の新設

3病院間での人事交流・ローテーション↑↑



医療情報基盤を構築
デジタル環境を整備

3病院間での医療情報共有



救急・がん・移植医療に特化した地域中核病院
地域連携の強化

自治体との連携強化

高齢者救急に特化した地域医療拠点強化

自治体との連携強化

(2) 若手医師の研究力強化

- ・医療情報の二次利用
⇒産学官連携の活性化↑↑
- ・新たな研究による産学連携機会↑↑

東京医科大学(新宿)



教育・研究強化

統計・解析データをもとに、新たな基礎研究を創出

- ・症例集積力の強化
- ・治験・臨床研究の参画拡大
⇒研究の質・規模↑↑

DX化の促進
ダヴィンチ手術用ロボット用シミュレーション機器導入

手術部門の機能強化

(3) AI Hospital化

病院運営の構造転換

教育強化

- ・診療の一般業務効率化
- ・実診療時間の増加と診療の質向上
- ・個別化医療推進(患者中心のデジタル医療体制確立)

- ・若手医師の教育向上(デジタル環境により若手医師への教育が拡充)
- ・若手医師の負担軽減・安全性向上
術者トレーニング機会向上により、実診療への質向上につながる